

太子町文化財資料 第24集

太田・田中遺跡立会い調査

1991年6月

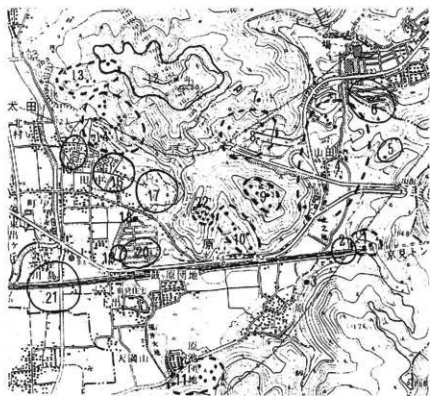
太子町教育委員会

例言

1. 本書は、兵庫県揖保郡太子町太田字亥ノ馬場1131-2に所在する太田・田中遺跡の立会い調査概要である。
2. 調査は、宅地造成工事に伴い平成3年5月10日に実施した
3. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課三村修次、田村三千夫、海野浩幸が担当した。
4. 本調査、整理作業にあたっては、藤井昭子、森崎宏子、岩村千穂、山本和子各氏の協力を得た。
5. 遺物の実測は山本が行ない、トレースは岩村が行なった。
6. 本書の執筆・編集は、海野・田村が担当した。

目次

- | | |
|------------|---|
| 1. 調査に至る経過 | 2 |
| 2. 調査の概要 | 2 |
| 3. まとめ | 4 |



第1図 周辺遺跡分布図 (S=1/25000)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 白毛古墳群 | 12. 楯岩城跡 |
| 2. 山田遺跡 | 13. 城山古墳群 |
| 3. 原北町古墳 | 14. 黒岡古墳群 |
| 4. 山田古墳群 | 15. 黒岡神社遺跡 |
| 5. 桃山遺跡 | 16. <u>木田・田中遺跡</u> |
| 6. 小丸山遺跡 | 17. 原坂遺跡 |
| 7. 聖古墳 | 18. 黒岡山古墳 |
| 8. 山田大山古墳群 | 19. 黒岡山墳墓群 |
| 9. 北山古墳群 | 20. 原坂弥生遺跡 |
| 10. 郷ノ谷古墳群 | 21. 川島遺跡 |
| 11. 塚村古墳群 | 22. 鷺山古墳群 |

太田・田中遺跡立会い調査

1. 遺跡の所在地 兵庫県揖保郡太子町太田字亥/馬場1131-2
2. 調査主体者 太子町教育委員会
3. 調査担当者 三村修次 田村三千夫 海野浩幸
4. 調査期間 平成3年5月10日
5. 調査面積 233.12㎡

6. 調査に至る経過

太田・田中地区は、太子町の東部を流れる大津茂川の東岸に位置する。

周辺には弥生時代の遺跡をはじめ古墳や古墳群が存在し、田中地区にも弥生時代から古墳時代の田中遺跡の存在が知られている。

今回宅地造成に先立ち、遺跡確認のため立会い調査を実施した。調査地は標高17～18mの所に位置する畑地である。



第2図 調査地区位置図 (S=1/2500)

7. 調査の概要

調査は工事予定地内の3か所において実施した。

第1地点

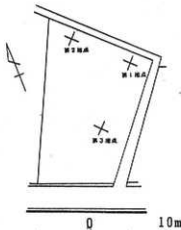
厚さ20～30cmの耕土、10～20cmの旧耕土、その下層に厚さ10cm前後の褐灰色土があり黄白色土地山に達する。遺構は検出されなかった。

遺物は第2～3層より須恵器片2、土師器片2近世陶器細片1が出土した。

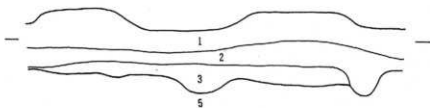
第2地点

厚さ20cmの耕土、その下層に厚さ10cm前後の褐灰色土があり黄白色土地山に達する。遺構は検出されなかった。

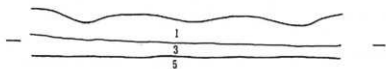
遺物は第2層より弥生式土器片2、須恵器片4が出土した。



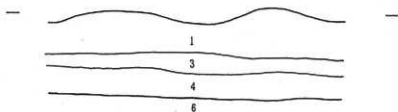
第3図 調査地点位置図 (S=1/500)



第1地点土层断面图



第2地点土层断面图



第3地点土层断面图



第4图 土层断面图

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 耕土 | 2. 旧耕土黄褐色土地山 |
| 3. 褐灰色土 | 4. 褐灰色砂质土面图 |
| 5. 黄白色土地山 | 6. 黄褐色土地山 |

第3地点

厚さ30～40cmの耕土、その下層に厚さ10cm前後の褐灰色土、その下層に厚さ20cm前後の褐灰色砂質土があり黄褐色土山地に達する。遺構は検出されなかった。遺物は第2～3層より弥生式土器細片1、須恵器片3、土師器片2、近世陶器細片1が出土した。

出土遺物

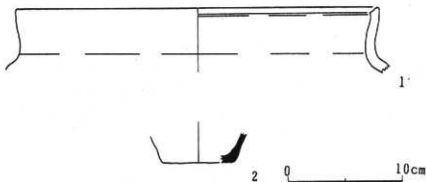
出土した遺物の殆どは細片や小片であり実測可能なものは5図に示した2点だけである。

1. 第2地点出土遺物

須恵器の広口短頸壺の口縁部である。口縁はゆるく外傾して端部は内傾する平面をなす。復元口径32.0cmを測る。胎土は微砂粒を多く含み、焼成は堅緻で灰色を呈する。内外面ともナデ調整される。全体にザラついた感じを受ける。

2. 表面採集遺物

弥生式土器の甕或は壺の底部である。復元底径6.4cmを測る。胎土は細砂粒を多く含み焼成はやや軟質で淡黄褐色を呈する。摩滅が著しく調整は不明である。

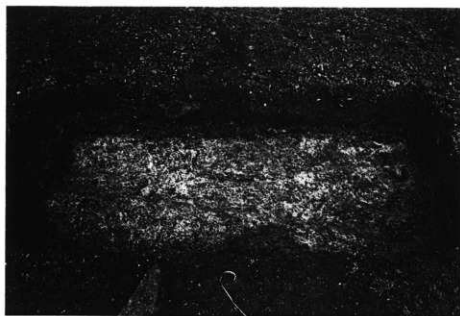


第5図 出土遺物実測図

8. まとめ

今回の調査では遺物包含層や遺構は確認出来なかった。また、出土遺物もその殆どが流れ込みによるものと考えられる。

以上のことから、今回の調査地は遺跡の範囲外と推定される。



(上) 第2地点 北壁面 (南から)

(下) 第3地点 北壁面 (南から)

